

■子供の水難事故■

事故の6割が夏に発生

夏になると、海や川に行く機会が増えますが、水難事故には十分気をつけたいもの。

特に、夏休みの時期は、毎年、子供の水の事故が目立ちます。

昨年一年間で「水の犠牲」になった中学生以下の子供は469人。このうち、6月から8月までの3か月間に、全体の6割近い267人が生命を落としています。

子供を水の事故から守るために、わたしたち大人はどんな点に注意したらいいのか、本格的な夏を前に、もう一度考えてみましょう。

子供の水泳や水遊びには大人が必ず同伴しよう

子供の水難事故の6割以上が、子供たちだけで出かけた際に発生しています。子供の水泳や水遊びには、必ず保護者が信頼できる大人が同伴す

＝東金文化会館開館記念＝

読売日本交響楽団
特別演奏会が行われます



家の近くの危険な場所を再点検



昨年の例をしてみると、子

供の水難事故の4分の3以上が、安全措置を怠っている所で発生しています。

自宅付近の河川や用水路、溜池などを再点検し、安全策のとられていない所には、管理者に申し入れて、ふたや柵を設けたり、危険を知らせる立て札を立ててもらおうようにしましょう。

雨降の後は特に注意を

雨が降った後は、川や用水路の水かさが増すばかりでなく、水の流れも速くなりたいへん危険です。子供が近づかないよう特に注意が必要です。

(財)東金文化会館は、7月1日開館を予定しておりますが、オープンの記念事業として、山武圏域市町村の共同文化事業による読売日本交響楽団特別演奏会が開催されます。

■日時 7月28日(火)
午後2時半開演

■場所 東金文化会館

■入場料 二千円

※入場券の取扱い、その他詳しくは7月号にてお知らせします。

梅雨前線

うつつしい梅雨のシーズンですね。といっても、細長い日本列島のことですから、梅雨の時期も所によって違います。沖縄の平均梅雨入りは5月11日ごろ、東北地方の北部は6月15日ごろです。ご存知のように北海道には梅雨はありませんが、えぞ梅雨と称して、梅雨めいた日が続くことがあるそうです。

もっとも有名なのが桜前線ですが、これを追って、やまつつじ前線・藤前線・あじさい前線などが北上します。秋には、すすき、かえでの紅葉などの前線が南下します。

梅雨の時期には日本付近に東西に延びる前線が停滞しているのが特徴で、この停滞前線を梅雨前線と呼びます。

日本は自然の移り変わりははっきりとした楽しい国ですね。

前線の北側はオホーツク海高気圧からの冷たい北寄りの風が、南側は太平洋高気圧からの暖かい湿った南寄りの風が吹いています。

雨期は恐ろしい災害の季節でもあります。そこで、6月は「土砂災害防止月間」となっています。梅雨や台風などによる土石流、地滑り、がけ崩れなどの災害から人命や財産を守るための認識を深め、対策を推進する月間です。あなたの身の回りを点検すると同時に、万一のときの対策も考えておきましょう。

